

5月18日(月)

かんしゃくを起こす？

聖書朗読 ヤコブ 1：19～27

愚かな者は怒りをぶちまける。しかし知恵のある者はそれを内におさめる。

箴言 29：11

仕事について上司から文句があると腹が立ちませんか。スポーツの審判が、反則を取ると罵声を浴びせたりしませんか。子ども達を怒りに任せて叱ったりしませんか。車を運転している時いらいらして、クラクションを鳴らし続けたりしませんか。借りた物を返さない人がいたら腹が立ちませんか。

鎮痛剤のコマーシャルでは、「ひどい頭痛に効かなくても私のせいにならないで」と愚痴をこぼす場面があります。人間の気持ちは薬では治せません。短気やかんしゃくを鎮めるのは簡単ではないと思います。

気が短くて、かんしゃくを起こすと、自分を制御できないと言って自分の行動に対し言い訳をしたりする人がいます。一方本当に気持ちを制御できなく意思に反した行動をする人もいます。そのような人たちは神様の支配する聖霊を必要としているのでしょうか。聖霊の果実は愛です。愛があればいらいらしたりしません。私たちの内に神様の愛が宿れば行動に変化が現われます。神様の恵みは私たちの心を和ませ、恐れをとり払ってくれます。

愛はあまりにも純粹で神聖なもの
友情はあまりにも尊いもの
一瞬の向こう見ずな愚行により、
心は荒涼とし、醜くなる。
——匿名

讚美歌 298

祈り 天のお父様。怒りのために拳を振り上げたり、せっかちになったり、頑なな心になることから救ってください。私たちの舌にはくつわを、神経には音楽を、心には聖霊を与えてください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ジェニングス・デイビス 1966

今日のカ

2015年5月18日～5月24日

翻訳 井上輝彦

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

5月19日(火)

不 動 の 信 仰

聖書朗読 ヤコブ 5:7~12

ですから、私は、キリストのために、弱さ、侮辱、苦痛、迫害、困難に甘んじています。なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです。

Ⅱコリント 12:10

友達で癌の治療のために定期的に病院に通っている人がいます。別の友人は結婚生活が破綻し苦しんでいます。私たちはどこかに痛みを抱えていませんか。

イエス様の誕生前に登場するヨブは、不動の信仰と忍耐力を持っていた人の例です。彼は財産、家族、友人、社会での地位、そして自分への自尊心まですべてを失い、そして物理的にも苦痛の中で灰だまりの上に座って激しく苦情を言っていました。ヨブは、この苦しみがサタンの成せる仕業ということを知らず、神様になぜこの様なことを私になさるのですか、と尋ねました。しかし、彼は不動の信仰の持ち主で、すべては神様が統治していることを知っていました。

一方、イエス様を知ったパウロは、いわゆる肉の痛み、明らかに物理的な苦痛に耐え忍びました。しかしヨブと違ってパウロは神様がサタンを使って痛みを与えることを知っていましたが平気であった訳ではなく、彼もまたヨブと同じく神様に苦情を言ったのです。三度の懇願の後、神様は苦痛を取り払われました。そして言われました。『わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現れるからである。』(Ⅱコリント 12:9)。パウロは喜びを持ってキリストの力により苦痛に耐えたのです。

讃美歌 360

祈り 御在天の父なる神様。あなたから与えられた力に感謝します。また内に住まわれている聖霊に感謝します。私の力ではなくあなたの力に頼ることができますように。

イエス様の御名を通して。アーメン。

キャサリン・M・シルベイ 1974

5月20日(水)

祈 り の 成 長

聖書朗読 ヤコブ 5:13~20

まず初めに、このことを勧めます。すべての人のために、・・・願ひ、祈り、とりなし、感謝をささげられるようにしなさい。 I テモテ 2:1

祈りによって私の人生が変わりました。昔は気が向いた時に祈り、しかも私の祈りは機械的に行っていました。人生は一人芝居のようで、祈りはいつも大きな事(世界的な問題、父の病気、成功や救済)に関してのみしていました。小さい事で神様を煩わすのは良くないと思っていました。しかし今は、祈りの対象が、小さな決心、小さなもの、小さな出来事というのでは無く、どのような祈りでも神様に近づいたり遠ざかったりするということが分かりました。

御言葉を求めるようになり、祈りというものが神様に対する個人的な応答、感情であり、決して自己中心的な要望のリストではないということを理解し始めました。祈りが神様との執り成しというのが現実的になったのです。他人に必要なことに気がつけばつくほど、日常の祈りの中にそのことを取り入れるようになります。

他人のために祈る時間を割くようにしましょう。他人に代わってあなたの心からの賛美、賞賛、願ひを主に捧げましょう。黙想した後、家族の要望、主における兄弟姉妹や友人のために祈りましょう。

讃美歌 295

祈り 主よ。私たちに耳を傾けてくださりありがとうございます。私たちに平和を与え、あなたのもとへ行く勇気を与えてください。
イエス様の御名により。アーメン。

プレンチス・A・メドーJR 1976

5月21日(木)

イエス様との喜びの交わり

聖書朗読 Iヨハネ 1:3~7

なぜなら、神の国は飲み食いのことではなく、義と平和と聖霊による喜びだからです。このようにキリストに仕える人は、神に喜ばれ、また人々にも認められるのです。

ローマ 14:17~18

幸福の追求は、合衆国独立宣言の立案者によって人類の基本的な権利として盛り込まれています。以来何世代にも亘ってアメリカ人はそれを彼らの目的としてきました。すさまじい時間とお金と努力がその追及のために費やされてきました。でも、どのくらい成功したのでしょうか。おそらく人々は今も幸福を追い続けているということは明らかです。

ホーソンは、この世の幸福は、来る時は不意にやって来て、追求を目的にしても、あてもない雲をつかむような追求で、決して達成しないとしました。聖書と私たちの経験から、ホーソンが正しいと教えています。幸福を求めても否定されます。幸福はもっと重要な目的を追求する副産物としてやってきます。

ヨハネによれば、それは神様との正しい関係から必然の結果から来るものです。それは、お互いの交わりから、また神およびその御子イエス・キリストとの交わりから来るものです。これらの交わりの外では、罪の暗闇の中を歩むこととなります。しかし天国との関係、神の真実の光、明確な良心が、私たちの道を満たしてくれます。これが本当の喜び——奪うことのできない権利、神の子としての輝かしい財産です。

讃美歌 288

祈り 天のお父様。私たちにあなたとあなたの御子、聖霊、私たちとの正しい交わりを与えてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ヘレン・M・ヤング 1975

5月22日(金)

世にあるものを愛さないで

聖書朗読 Iヨハネ 2:12~17

柔和な者は幸いです。その人は地を相続するからです。

マタイ 5:5

確かにイエスは間違っている。柔和な人は約束の地を相続しない。地は恐れを知らない人や悪意に満ちた人で相続される。彼らの求めるものは金や銀、権力や快樂である。

これは私が若くてイエス様を知らない時の考えでした。今は違います。キリスト者にとって世俗で価値があるとされているものは、何の価値もありません。なぜ。それは簡単なことです。私はイエス様の兄弟であるからです。イエス様によって地を相続します。それは、醜い物ではなく、一時的なものでもありません。カビが着いたり、錆びてダメになっているものでもありません。地はキリストの物ではありません。神様は、自分の子達に劣った贈りものをするように語られたことはありません。

私がイエス様の兄弟になった時、素晴らしく、美しく、良い物を相続しました。日の出で感じる希望、花に感じる神様の栄光、日の入りの時に感じる神様の愛。また夕時の冷気の中の神様の平和も受け取りました。神の創造した山を眺める時、虹を見た時に感じる神の英知、日々に於ける神の恵み。それら神の力は私にも力になります。

もし私達がこれらを神様から受け継いだなら、この世なるものを愛さないでください。それらは過ぎ去っていきます。神様を愛しましょう。永遠の贈りものはあなたのものです。

卒業するために生活を賭ける

無駄な物を買うのに全霊を賭ける

天国だけは無償で与えられる

神様だけが求めに答えられる

ジェームズ・ラッセル・ローウエル

讃美歌 502

祈り 主よ。絶えず祈る知恵とあなたの贈りものを理解する心を授けてください。イエス様の御名により。アーメン。

ロイ・F・オスボーン 1955

5月23日(土)

愛を結ぶ実

聖書朗読 Iヨハネ 4:11~20

神を愛すると言いながら兄弟を憎んでいうなら、その人は偽り者です。目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することは出来ません。

Iヨハネ 4:20

愛による神様のなさることは無駄なものではなく、情緒に訴えるものでもありません。しかし、厳格で、素晴らしく、奥深くも悲劇的でもあります。パウロによると、愛とは、神様を信じる者にすべてにおいて創造的に働きます。

創造主は、私たちの悲痛な深い願いをご覧になり言われました。「愛だけがこれらの傷を癒すことができ、他のものはできない」。パウロのように十字架の前で跪く時、他人に対する私たちの行動は、実直で優しく、親切で、寛大になり、平和を好むようになります。これが、パウロが述べている愛です。

愛に満ち溢れている心には罪がありません。憎しみが心を荒廃させたり、自信が表面に出てきたり、欲望が霊を汚したりするときは、愛の創造的な役割を否定しているのです。愛に背くことは神様に背くことです。

作家のボディーが次のように述べています。

愛は忍耐—待ちなさい。愛は純粹—輝きなさい。

愛は哀れみ—泣きなさい。愛は思いやり—奉仕しなさい。

愛は兄弟関係—信頼しなさい。

愛はキリストの死—死により生まれ代わりなさい。

ヨハネが言っています。『愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。』(Iヨハネ 4:7)。

讃美歌 272

祈り 計り知れない愛をくださる天のお父様。私たちがあなたに対するように他人に対しても愛することができますように助けてください。私たちの愛の至らなさをお許しください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ロバート・L・フラレイ 1969

5月24日(日)

イエス様に近づく——信仰の勝利

聖書朗読 Iヨハネ 5:1~12

世に勝つ者とは誰でしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。

Iヨハネ 5:5

日常生活に於いて障害となるものは、本物で真実なものから目を逸らすものが次々とあるようです。それらは大声を張り上げ明るく速く攻めてきます。

「さあ見よ、私たちが真実だ、今が真実の時だ」と言ってきます。そして本物の光が見えなくなり、真実の声が聞こえず、その結果、瑣末なもの、派手なものや偽物に目が行くようになるのです。

この様にして残念なことに神様の真実から目を逸らし、これらのけばけばした物が、より真実であると思ってしまうのです。神様の真実を嘘で置き換えてしまうのです。私たちは解決策を諦め、泥沼に入った豚のように希望のない、正解のない世界へ行ってしまうのです。

これこそまさに、神様がこの世に来ることを選択された理由です。そして最初に述べた障害から遠ざかるように言われました。別の言葉で言えば『ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。』(ヨハネ 1:14)

私たちがイエス様を見続けて、その中で神様を見る限り私たちは世に打ち勝つのです。

讃美歌 338

祈り 主よ。イエス様を見ることにより、私たちが世に打ち勝つことができるように助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ジョン・F・ウィルソン 1975